

GIGAスクール第1期導入端末の有効活用 スムーズな授業・会議進行のために充電ステーションの設置

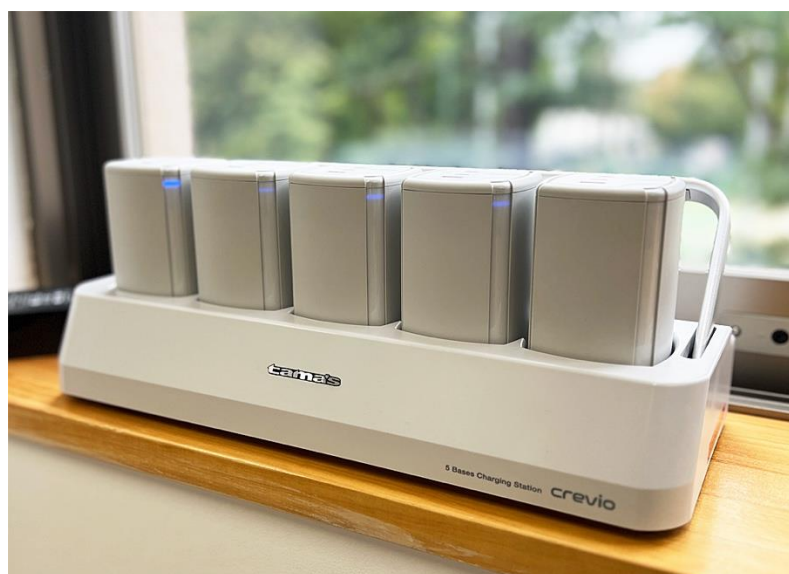
課題

- 授業用タブレットの充電忘れの対策をしたい。
- 授業中に自席での充電を可能にしたい。
- 既存導入端末のバッテリー劣化の対策をしたい。

解決策

充電ステーションの導入でタブレット・PCの充電問題を解決
導入端末の有効活用

導入写真



教室・会議室に充電ステーションcrevioが設置され、充電の不安なくスムーズな授業・会議進行の為に積極的に活用されています。

導入製品



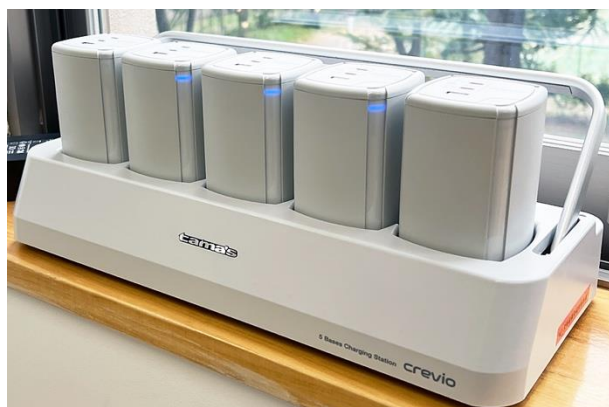
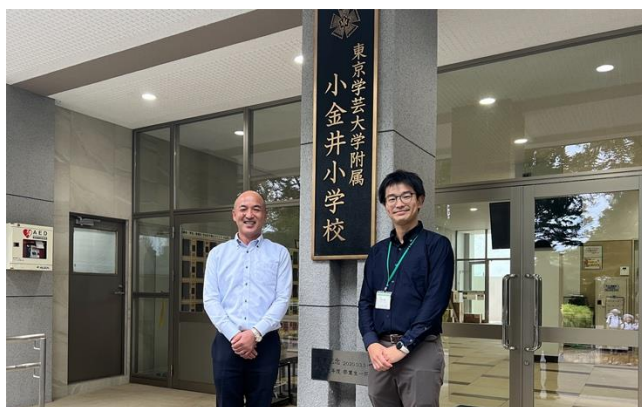
crevio®

TLP125LFP-5S

- 安全・長寿命。リン酸鉄バッテリーを使用
- 最大6年間。安心の保証サポート
- ノートパソコン・タブレット対応。
高出力・大容量バッテリー（容量：18,000mAh）
- 置くだけでラクラク。「接点式」の充電ステーション

導入事例

東京学芸大学附属小金井小学校様



東京学芸大学附属小金井小学校 入口にて。左より多摩電子工業 法人営業部 宮下、東京学芸大学附属小金井小学校 小池教諭。教室・会議室に充電ステーションcrevioが設置され、生徒・教職員ともに積極的な活用を頂いています。

1.導入前の課題

GIGAスクール第1期導入の端末を有効活用するためにバッテリー劣化の課題をクリアする必要がありました。
導入前は充電の為に電源が近い席に移動する必要がありました。
教室内の電源コードの煩雑さ、子どもがコードに引っかかる危険や、家庭での充電徹底の難しさが課題でした。



東京学芸大学附属小金井小学校
小池教諭



2.導入理由

GIGAスクール端末の再資源化を目的に、バッテリー劣化問題を解決するためモバイルバッテリーを導入。
文部科学省の最先端技術教育データ利活用推進事業の関連予算も確保し、既存資源の有効活用を図った。
モバイルバッテリーは安全性の高いリン酸鉄モデルで、中央区の事例を参考に選定。家庭用製品が多い中、学校やビジネスユースに適したステーション式充電が魅力とされた。

3.導入後の効果

導入後は教員からの反対意見はほとんどなく、管理面の不安は運用ルールで対応。教員自身も会議時に活用し、充電切れの心配やコミュニケーションロスが減少。
容量や二股充電機能も好評で、紛失リスクが低い点も評価されている。
災害時の緊急の対応手段としてモバイルバッテリーの利用が有効と考えられている。



4.今後の期待

文教専用モデルの導入や予備ケーブルの付属など、さらに使いやすさを向上させる改善が望まれます。
充電問題の解消により、ペーパーレスやDX推進の支援になるため強くおすすめしています。